

# 中国の「こころ」がわかる。日本文化のよさもわかる

# 「図説」中国文化



程啓坤他著【日本語版】監修・解説・熊倉功夫、監訳・解説・高橋忠彦、解説・松下智、守屋雅史、9800円

### 『中国茶文化大全』

中国の茶文化研究機関で、CD-ROMの日本語版。ある中国国際茶文化研究会、四千年におよぶ悠久の茶文が総力を結集して制作した。化を縦横に検索堪能できる。

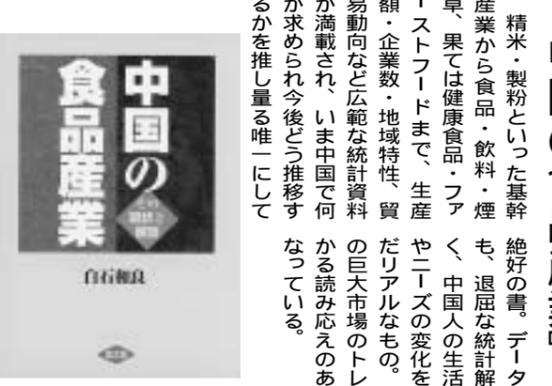


### 『既刊』 推理小説のように大河ドラマのように描く「人間・鑑真」

#### 『おん目のまめくはまめ』

浙江大日本文化研究所長・王勇著

一九九八年、来日した江は、世界の歴史の中でもまた、沢田国家主席(当時)は、これに見るものであります。早稲田大学で「歴史を鏡と」と述べている。鑑真はまさしく、未来を切り開くことに日中友好のシンボルといふと題する講演を行なった。ついでに、その鑑真は、唐にあって交流を担った先達である「大師」としてすでに名望とを指摘し、「中日両国人、高いにもかかわらず、危険な航海をもとめせず、渡日した。渡日の動機について、互いに、お互い、渡日は遣唐使が強く招請した。それが続いた時間の長さ」といふ説や、中国における



白石和良著、A5判、570頁、10000円

### 『中国の食品産業』

精米・製粉といった基幹産業から食品・飲料・煙草、果ては健康食品・ファストフードまで、生産額・企業数・地域特性、貿易動向など広範な統計資料が満載され、いま中国で何が求められ今後どう推移するかを推し量る唯一にして

### 『野生動物は語る』

動物科学研究所・今泉忠明著

高山、砂漠、密林、凍土、サイの角、トドの骨、多様な自然環境の中で暮らす中国の野生動物を通して、人と自然との関わりを描く。野生動物を動物園に保護して繁殖させようという切迫した状況から、森林の減少と砂漠化は、動物の居場所を奪っている。ま

### 『神と人との交響楽』

早稲田大学教授・稲畑耕一郎著

中国の仮面と言えは京劇の面が、(民族)によりさまざな神と人をつなぐシンボルと信をたどる。中国人の宇宙観、自然観、社会観の深層が見える。日本の能面や神楽面との比較も興味深い。



『人民中国』月刊、A4変形判、82頁、定価400円、年間購読料4800円

### 『人民中国』

「人民中国」は、現在中国で発行される日本語による月刊の中で最も古い雑誌です。一九五三年六月五日、巻頭に郭沫若氏による「発刊のことば」を載せ、中日両国の相互理解と友情を深めるという主旨で創刊された。中国情報源の乏しかった当時、新中国の息吹を知る貴重な情報源として大いに歓迎されました。以後、大胆な改革開放が進む今日まで、激動の中国にあって、中国現地編集の日本語雑誌という他媒体にはない特徴を活かした誌面は、中国に心のある方々に広く読まれています。

### 『神と人との交響楽』

早稲田大学教授・稲畑耕一郎著

中国の仮面と言えは京劇の面が、(民族)によりさまざな神と人をつなぐシンボルと信をたどる。中国人の宇宙観、自然観、社会観の深層が見える。日本の能面や神楽面との比較も興味深い。

### 『神と人との交響楽』

早稲田大学教授・稲畑耕一郎著

中国の仮面と言えは京劇の面が、(民族)によりさまざな神と人をつなぐシンボルと信をたどる。中国人の宇宙観、自然観、社会観の深層が見える。日本の能面や神楽面との比較も興味深い。

<h3>農文協</h3> <p>中国史のなかの日本像 王勇著、中国における日本観の変遷を古代から現代わたってたどり、中日関係の未来を展望した中日交渉史。 1950円</p> <p>戦後日本の哲学者 鈴木正一・王守華編、戦後日本の思想界をリードしてきた哲学者たちの人と思想の今日的意義を追求した現代日本思想家論。 2752円</p> <p>安藤昌益日本・中国共同研究 農文協編、自然と人間の関係回復を主張する昌益思想の現代的意義を総合的に検討した日中シンボルの全記録。 6116円</p> <p>中国盆景の世界 全3巻 丸島秀夫・胡運輝編、日本盆景の源流を日中両国の権威が豊富な絵画と写真で集大成。 各2500円</p>	<h3>日中文化交流</h3> <p>江門・明治期の日中文化交流 浙江大日本文化研究所編、清末民初の日中両国の文化交流をさまざまな角度から検証し、中日両国の平和友好を模索したシンボルの記録。 4200円</p> <p>奈良・平安期の日中文化交流 王勇・久保本秀夫編、東アジア文化圏、日本文化の形成過程を歴史的にたどる新書の専門家によるユニークな研究集成。 4800円</p> <p>戦後日本哲学思想概論 本間史朗・下宗道著、戦後日本の思想界をリードした多様な哲学思想を総括し、哲学思潮の新たな展開をめざす共同研究。 1890円</p> <p>日本神道の現代的意義 王守華著、本間史朗、中国気説の日本思想研究者による「自然」との共生こそ神道思想の真髄」といふユニークな神道論。 6000円</p>	<h3>東洋思想</h3> <p>東西文化とその哲学 梁漱溟著、長谷部茂訳、自然との調和を重視する東洋文化によってさまざまな課題を解決し、人類の持続的発展を提案。 5000円</p> <p>東洋思想の現代的意義 梁漱溟著、本間史朗、西洋の科学と東洋思想の結合による人類の存続をめざし、東洋における多様な思想的叢書を詳解。 3200円</p> <p>郷村建設理論 梁漱溟著、アジア問題研究会編、西歐的な資本主義的・社会主義的な近代化とは異なる、農村や農民中心のアジア的近代化を主張。 5000円</p> <p>晏陽初 その平民教育と郷村建設 宋恩榮編著、鎌田文彦訳、近代中国の教育者・思想家として知られる晏陽初の思想と実践を、評伝と著作に基づいて詳解。 6000円</p>	<h3>食料・農業</h3> <p>中国の食品産業 その現状と展望 白石和良著、脅威がビジネスチャンスか、中国食品産業市場の動向を知る初めてのデータ集成とトレンド解説。 10000円</p> <p>中国農業必携 ワイドな統計、正しい読み方 白石和良著、行政、農業農家経済、農畜林水産業、産業界の現状と各省別人口・産業経済指標ランキングなど。 7350円</p> <p>杜潤生 中国農村改革論集 農林中金総合研究所編、中国農業の基礎を築いた政策担当者の貴重な証言を、読みやすい翻訳と解説・問題を付して詳解。 12000円</p> <p>詳細 中国の農業と農村 河原昌一郎著、食糧供給と流通、市場化の進展、農民経営、農村政策、社会保障、農民負担問題、小規模建設など。 3150円</p>
---	---	---	---

